研究課題名

「　頸静脈肝生検による急性肝不全病理組織の特徴と死亡予測因子の検討　」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H29中倫小第20号）

頸静脈肝生検による急性肝不全病理組織の特徴と死亡予測因子の研究実施についてのお知らせ

　県立中部病院消化器内科では、頸静脈肝生検による急性肝不全病理組織の特徴と死亡予測因子の研究を実施しております。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成　　２９年　　５月　　２３日

【研究課題名】

頸静脈肝生検による急性肝不全病理組織の特徴と死亡予測因子の検討

【研究期間】

1995年1月から2017年1月まで

【調査対象】

当院において2011年厚労省研究班の急性肝不全の定義に合致する33例のうち急性肝不全に対する頸静脈的肝生検(TJLB)を施行した25例

【研究目的・意義】

当院においては急性肝不全に対する頸静脈的肝生検(TJLB)を行い可能な限り成因診断と予後予測につとめており、今回、TJLB行われた急性肝不全症例の病理組織所見と予後因子を検討する

　【研究の方法】

後ろ向き研究

【個人情報の取扱い】

個人名、イニシャルともに公表せず。

【研究機関】

県立中部病院

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院　消化器内科　山田航希

〒904-2293 沖縄県うるま市宮里281　電話：098-973-4111（内線2095）